

海洋環境放射能総合評価事業

—海産生物放射能影響評価調査—

(要 約)

対馬 誠・三津谷 正・松原 久・山中 崇裕・中村 靖人

核燃料再処理施設等が予定されている青森県六ヶ所村周辺海域において放射能影響評価に際し必要な基礎資料を収集するため、生息する海産生物と海洋環境について調査を昭和62年度から実施している。その一環として平成2年度は同海域の海洋環境調査を実施した。詳細は「平成2年度海洋環境放射能総合事業成果報告書（平成3年12月 青森県）」として報告した。

1. 5月、7月、10月および11・12月の年4回、六ヶ所村沖の定点において環境調査を実施した。
2. 透明度は2～21mの範囲にあり、5月に低く、7および10月に高い値を示した。
3. 水温は5月10～15℃、7月15～19℃、10月17～21℃、11・12月13～16℃の値を示した。
4. 塩分は29.2～34.2の間の値を示し、特に、7および10月に沿岸側の一部定点で低塩分の所が見られた。
5. 濁度（SS）は0.21～12.9mg/lで12月が高い値を示した。
6. 化学的酸素要求量（COD）の値は0.00～1.36mg/lの値を示した。
7. 珪酸塩（Si）は0～37.88μg·at/lの範囲にあり、10月に高い値を示した。
8. 硝酸態窒素は0.00～10.97μg·at/lの値を示し、11・12月に高い値を示した。
9. リン酸態リンは0.03～0.55μg·at/lの値を示し、11・12月に高い値を示した。